

第 65 回公益社団法人日本医療社会福祉協会全国大会
第 37 回日本医療社会事業学会
第 60 回北海道医療ソーシャルワーク学会

開 催 要 綱

大会テーマ

医療ソーシャルワークの枠組みを再考する

日 程：2017年6月2日（金）～4日（日）

会 場：札幌プリンスホテル 国際館パミール

名誉大会長：中平 大悟（日本医療社会事業協会 元会長）

大 会 長：関 建久（社会医療法人明生会 道東脳神経外科病院）

副 大 会 長：木川 幸一（国立病院機構 北海道がんセンター）

主 催：公益社団法人日本医療社会福祉協会

一般社団法人北海道医療ソーシャルワーカー協会



開催概要

名 称

第 65 回公益社団法人日本医療社会福祉協会全国大会（北海道大会）
第 37 回日本医療社会事業学会
第 60 回北海道医療ソーシャルワーク学会

大会テーマ

「医療ソーシャルワークの枠組みを再考する」

日 程

2017 年 6 月 2 日（金）～ 4 日（日）

名誉大会長 中平 大悟（日本医療社会事業協会 元会長）

大会長 関 建久（社会医療法人明生会 道東脳神経外科病院）

副大会長 木川 幸一（国立病院機構 北海道がんセンター）

主 催

公益社団法人日本医療社会福祉協会
一般社団法人北海道医療ソーシャルワーカー協会

後 援（予定）

厚生労働省 北海道 札幌市 日本医師会 北海道医師会

会 場

札幌プリンスホテル 国際館パミール
〒060-8615 札幌市中央区南 2 条西 11 丁目
TEL: 011-241-1111

大会事務局

公益社団法人日本医療社会福祉協会 組織運営部
〒162-0065 東京都新宿区住吉町 8-20 四谷ヂンゴビル 2 階
TEL: 03-5366-1057 / FAX: 03-5366-1058
E-mail: jaswhc@d3.dion.ne.jp

運営準備室

株式会社近畿日本ツーリスト北海道 札幌法人旅行支店
〒060-0003 札幌市中央区北 3 条西 2 丁目 日通札幌ビル 6 階
TEL: 011-280-8855 / FAX: 011-280-2732
E-mail: s-convention-1@or.knt.co.jp

プログラム

6月2日(金)

第7回社員総会

第2会場 12:00~13:45

開会式

第1会場 14:00~14:30

シンポジウム①「災害支援シンポジウム～災害時に医療ソーシャルワーカーの行う支援活動」

第1会場 14:45~16:15

座長：笹岡真弓(日本医療社会福祉協会東日本大震災災害支援チーム統括責任者)

「石巻活動拠点における活動の現状」 福井康江(日本医療社会福祉協会東日本大震災
災害支援チーム石巻現地責任者)

「益城町における活動の現状」 土肥尚浩(熊本県医療ソーシャルワーカー協会会長)

「当協会災害支援活動(案)について」 葛田衣重(日本医療社会福祉協会社会活動部長)

「全体討議」

記念講演「周産期の今と、ソーシャルワーカーに期待すること」 第1会場 16:30~18:00

荻田和秀(りんくう総合医療センター周産期センター産科医療センター長兼産婦人科部長)

事業報告①「ソーシャルワークデータシステムの今後の活用と展望

(新システム「MANBO」の利用から)」

第3会場 16:30~18:00

報告者 日本医療社会福祉協会調査研究部ソーシャルワークデータシステム担当チーム

「日報作成(操作方法)について」

「機能の説明と「MANBO」の仕様確認」

「協会での集約方法、送付データの取り扱い、その送付内容及び方法について」

「データ集約に当たっての注意点」

「当協会の基礎データ集約について、活用方法」

第19回全国医療ソーシャルワーカー協会会長会議

第2会場 14:45~16:15

一般社団法人北海道医療ソーシャルワーカー協会設立60周年記念式典

日高・大雪 18:30~19:40

6月3日(土)

シンポジウム②「入退院時の保証人問題」～どう支えるか?～ 第1会場 13:30~15:00

座長 池田恵理子(あい権利擁護支援ネット)

「入退院と身元保証人の現状(実態調査報告)」 坪田まほ(日本医療社会福祉協会)

「生前・死後事務委任契約について」 高橋澄江(一般社団法人支心会)

「解決に向けた有効な対処法とは」 林祐介(名南ふれあい病院)

「全体討議」

シンポジウム③「MSWによる交通事故被害者生活支援」 第4会場 9:00~10:30

「交通事故被害者生活支援教育事業」について 井上 健朗(高知県立大学)

座長:村上 信(淑徳大学)

「交通事故被害者生活支援の実情と課題ー急性期の立場から」 佐々木哲(手稲溪仁会病院)

「交通事故被害者生活支援の実情と課題ー回復期の立場から」 佐々木美貴子(クラーク病院)

「知っておきたいこと、MSWに望むことー当事者の立場から」 藪中弘美(脳外傷友の会コロポックル)

「オンライン講座を用いた学習について」 松山 恵美子(淑徳大学)

シンポジウム④「全国医療ソーシャルワーカー会長会の役割を考える(仮)」

第1会場 11:50~13:20

座長 藤田譲(大阪医療ソーシャルワーカー協会会長 白鷺病院)

シンポジスト 関建久(北海道医療ソーシャルワーカー協会会長 道東脳神経外科病院)

中井正江(群馬県医療ソーシャルワーカー協会会長 前橋赤十字病院)

平田正彦(広島県医療ソーシャルワーカー協会会長 済生会呉病院)

井元哲也(大分県医療ソーシャルワーカー協会会長 KKR 新別府病院)

講演①「元MSWが語る 外から見たMSW」

第1会場 10:40~11:40

湯浅弥(ゆあさ社会福祉士事務所)

講演②「地域包括ケア研究会報告書における地域マネジメントをどう読み取るか」

第1会場 15:10~16:10

高田康範(社会医療法人北斗病院)

集い①「MSWから見た「退院支援加算」の検証~光と影を考える~」

第2会場 13:30~15:00

集い②「ワールドカフェ方式による終末期医療におけるソーシャルワーカーの意思決定支援」

第3会場 10:40~11:40

集い③「在宅医療を支える地域包括ケア病棟・病床の地域連携活動を考える」

第4会場 10:40~11:40

集い④「実習指導を通じた次世代養成と実践力形成」

第2会場 11:50~13:20

集い⑤「新人の新人による新人のためのつどい」

第4会場 13:30~15:50

- 集い⑥「地域包括ケアの拠点へ！老健支援相談員の組織マネジメントを考える～」
第2会場 15：10～16：10
- 集い⑦「ソリューション・フォーカスト・アプローチのつどい」
第3会場 15：10～16：10
- 集い⑧「救急医療におけるソーシャルワーカーのつどい
～救急認定ソーシャルワーカー認定制度をふまえて～」
第4会場 15：10～16：10
- 集い⑨「グローバル定義から実践を考える」
第2会場 10：40～11：40

ワークショップ「ソーシャルワークにおける退院支援実践の自己評価」
第3会場 11：50～13：20

事業報告②「グローバル定義からナショナル定義の作成プロセス
～現代のソーシャルワーカー像とは」
第1会場 16：20～18：00

報告者 日本医療社会福祉協会調査研究部倫理綱領検討担当チーム
「講演 グローバル定義からナショナル定義へ」
「実践からの提言：実践者」
「解説：日本医療社会福祉協会」

事業報告③「認定医療社会福祉士制度の現状と協会の取り組む方向性について(仮)」説明会
第4会場 11：50～13：20

報告者 日本医療社会福祉協会認定事業部
「「認定医療社会福祉士」制度の経過措置期間の実績と総括、及び経過措置期間と
正規ルートの変更点について」
「都道府県協会等他団体の研修のポイント認定」について
「認定社会福祉士認証・認定機構の認定社会福祉士制度の動向について」
「当協会が取り組む認定制度方向性について」

事業報告④「ハンセン病の歴史とハート相談センターの活動」
ポスター展示

報告者 日本医療社会福祉協会社会活動部ハンセン病回復者と家族支援チーム
「ハンセン病対策の歴史」
「全国療養所の現状」
「ハート相談センターの活動」

事業報告⑤「患者の権利を柱に据えた『医療基本法』制定を目指して」
ポスター展示

報告者 日本医療社会福祉協会社会活動部患者の権利法をつくる会チーム
「「医療基本法」の必要性、共同骨子及び要綱案の紹介」
「患者の権利法をつくる会」の活動報告」

第37回日本医療社会事業学会（分科会）

第1分科会（ソーシャルワーク実践Ⅰ）

第1会場 9:00~10:30

- 1-1 退院後、復学に至った成功例
田沼千恵美（一般財団法人脳神経疾患研究所附属総合南東北病院）
- 1-2 病弱児に対する院内通級指導教室の意義と今後の課題～4年間の取り組みについて～
島村敏文（徳島赤十字病院）
- 1-3 本人の意思意向はどのように汲み取られているのか～重度要介護者を介護する家族へのインタビュー調査から～
渋谷直道（社会医療法人社団健友会 中野共立病院）
- 1-4 機能不全家族との関わりを通じた一考察
鳥潟卓美（岩見沢市立総合病院）
- 1-5 緩和ケアが必要になった時期にある患者の緩和ケアへのイメージに関する検討
—当院におけるインテーク面接から得られた傾向—
久保田一葉（札幌清田病院）
- 1-6 身元引受人の不在が施設入所に与える影響
～外国籍の友人が保証人となり入所先を探した事例～
後藤敦博（いわてリハビリテーションセンター）
- 1-7 新人MSWの成長に必要な習得課題に関する一考察
～援助に行き詰まった事例の援助プロセスから～
清水裕美子（トヨタ記念病院）

第2分科会（業務分析・業務開発Ⅰ）

第2会場 9:00~10:30

- 2-1 子ども虐待防止委員会の取り組みについて～医療ソーシャルワーカーの立場から～
岩藤幸男（一般財団法人倉敷成人病センター）
- 2-2 児童虐待対応チームの立ち上げ
鎌田喜子（亀田総合病院）
- 2-3 高齢者アパートにおけるワンストップ相談への取り組み
長谷川詠美（安房地域医療センター）
- 2-4 入退院を繰り返す事例の構造分析とクライアント理解—神話論理の援用—
柳田千尋（JCHO 東京山手メディカルセンター・立命館大学大学院）
- 2-5 MSWの業務分化に伴う意識調査
小野朋子（刈谷豊田総合病院）
- 2-6 退院時等の帰宅困難者に対する帰宅費用貸付の試み
山根修（獨協医科大学越谷病院）
- 2-7 業務を形にすること 医療ツーリズム患者の受入れ相談を通して
岡野かおり（東京女子医科大学病院）

第3分科会（業務分析・業務開発Ⅱ、ソーシャルワークリサーチ）

第3会場 9:00~10:30

- 3-1 HIV陽性者の配偶者への病名告知に対するソーシャルワーカーの支援についての一考察～配偶者への告知状況を比較して～
田之上武明（東京慈恵会医科大学附属病院）
- 3-2 「高齢者虐待対応マニュアル」の活用に関する実態調査報告
石田潔（医療法人社団北匠会 小樽中央病院）
- 3-3 当センター退院患者の職業復帰の状況について
上田大介（いわてリハビリテーションセンター）
- 3-4 医療的ケアを要する在宅重症心身障害児（者）の母親におけるソーシャルサポート活用の実態
岩田直子（筑波大学附属病院）
- 3-5 小児がん患児・経験者支援についての文献検討
一心理社会的側面への支援提供に着目して一
菱ヶ江恵子（日本社会事業大学大学院）
- 3-6 医療ニーズと生活ニーズをみる他職種協働とソーシャルワーカーの機能
菊池要子（医療法人桃李会 御殿山病院）
- 3-7 医療ソーシャルワーカーの業務継続中断の要因分析 ～KJ法による抽出～
杉山明伸（立教大学）

第4分科会（ソーシャルワーク実践Ⅱ）

第2会場 16:20~18:00

- 4-1 SWによる退院支援システム強化への働きかけに関する一考察
～SWOT分析、BSCを活用した仕組みづくりを通して～
郡章人（地方独立行政法人徳島県鳴門病院）
- 4-2 急性期病院における退院後訪問指導を活用した取り組み
柏木秀紀（市立豊中病院）
- 4-3 救命救急病棟のMSWの介入方法
中野匡徳（洛和会音羽病院）
- 4-4 多職種カンファレンスの効果についての一考察
松尾莉子（東京女子医科大学八千代医療センター）
- 4-5 地域包括支援センターのソーシャルワーカーの役割に関する一考察
～地域活動を続けていく高齢者に向けた支援の事例から～
綿引彩香（厚木市南毛利地域包括支援センター）
- 4-6 地域への取り組みの現状と課題について～地域と事業所へのアウトリーチ活動～
小林一幸（医療法人樹心会 角田病院）
- 4-7 新たな健康講座の立ち上げ～子育て世代へのアプローチ～
富永千晶（社会福祉法人賛育会 賛育会病院）
- 4-8 ミニ健康教室から出前講座の展開へ
～ヘルスリテラシーに着目した地域包括ケアシステムの構築に向けて～
佐野間寛幸（JCHO 群馬中央病院）

第5分科会（業務分析・業務開発Ⅲ）

第3会場 16:20~18:00

- 5-1 退院支援加算1算定に向けての取り組みの現状と課題～質的評価指標の開発～
和田真奈美（高知県・高知市病院企業団立 高知医療センター）
- 5-2 退院支援加算1算定効果に関する一考察
荒木英世（市立函館病院）
- 5-3 退院調整看護師との新しい連携体制の構築を目指して
～DPC 期間を視野に入れた退院調整～
内藤愛（社会医療法人愛仁会 高槻病院）
- 5-4 平均在院日数短縮に向けたソーシャルワーク実践
～転院支援に時間を要したケースの振り返りから見えてくるもの～
田中美維（聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院）
- 5-5 呼吸器内科 MSW 介入患者における入院期間短縮から見えてくること
畑中眞優子（愛媛県立中央病院）
- 5-6 MSW 業務の見直し～退院支援加算算定数の増加を目指して～
田島加奈（洛和会音羽病院）
- 5-7 地域包括ケア病院開院と MSW による入退院支援の振り返り
堀内寛之（社会医療法人財団慈泉会相澤東病院）

第6分科会（人権とソーシャルワーク、教育・スーパービジョン、その他）

第4会場 16:20~18:00

- 6-1 ごみ屋敷問題とソーシャルワーク実践
ー京都市条例施行と関連した行動とソーシャルワークの視点ー
南本宜子（済生会京都府病院）
- 6-2 院内児童虐待防止委員会の活動
～性被害にあった子どもに、何度もつらい思いをさせないために～
田中博光（函館厚生院 函館中央病院）
- 6-3 助産制度利用妊産婦への生活支援の現状と課題
仲島瑛美（川崎医科大学附属病院）
- 6-4 MSW の主体性を育む教育の試み～GROW モデルを導入して～
渋谷麻美（新横浜リハビリテーション病院）
- 6-5 医療ソーシャルワーク分野での専門職ポートフォリオの活用
ー作成ワークショップ・プログラムの試作ー
井上健朗（高知県立大学）
- 6-6 組織におけるキャリアラダーに関する考察
佐原まち子（一般社団法人 WITH 医療福祉実践研究所）
- 6-7 災害に対するソーシャルワーク職能団体の意義～熊本地震からの経験を通して～
野方啓次（にしくまもと病院）

ポスター展示会場

P-1 転院支援における薬剤情報サマリの活用とその効果

伊良原裕子（東京医科歯科大学医学部附属病院）

P-2 救命救急センター担当ソーシャルワーカーに求められるニーズ

～多職種アンケートの結果から～

篠田香恵（国立病院機構東京医療センター）

P-3 平成 28 年度沖縄県入退院支援連携デザイン事業

～期待される効果と課題の報告（その1）～

樋口美智子（一般社団法人沖縄県医療ソーシャルワーカー協会）

P-4 平成 28 年度沖縄県入退院支援連携デザイン事業

～期待される効果と課題の報告（その2）～

島袋恭子（那覇市立病院）

P-5 ICT 連携・砂川市地域包括ケアネットワークシステムが始まって・

医療ソーシャルワーカーからの報告

及川佑介（砂川市立病院）

P-6 実践研究セミナーに参加するソーシャルワーカーの研究に対する態度

赤澤輝和（日本女子大学）

P-7 災害支援活動の継続から会員の活動に与えた拡がりー他人事から自分事にー

加藤淳（一般社団法人東京都医療社会事業協会）

P-8 地域包括ケア病棟・病床における在宅復帰支援の実態調査に関する一考察

～（公社）日本医療社会福祉協会 調査研究部平成 28 年度調査から～

佐野晴美（JCHO 横浜中央病院）

P-9 「在宅医療ソーシャルワーカーの集い」の開催報告と今後の展望

～（公社）日本医療社会福祉協会調査研究部の取り組み～

山崎まどか（JCHO 東京新宿メディカルセンター）

P-10「人生の最終段階における意思決定支援研修会」の研修評価

藤田譲（日本医療社会福祉協会調査研究部）

都道府県協会研修担当者会議

第 3 会場 13：30～15：00

交流会

美瑛・十勝・日高・大雪 18：30～20：30

6月4日（日）

特別講演「これからの医療行政とソーシャルワーカーに期待すること（仮）」

第 1 会場 9：10～10：10

佐々木健（厚生労働省 医政局地域医療計画課 課長）

教育講演「地域包括ケアと福祉改革ーソーシャルワーカーにとって好機か？危機か？（仮）」

第 1 会場 10：15～11：15

二木立（日本福祉大学）

閉会式

第 1 会場 11：20～11：50

2017年2月吉日

会員各位

公益社団法人 日本医療社会福祉協会
会 長 早坂 由美子
第 65 回公益社団法人日本医療社会福祉協会全国大会
第 37 回日本医療社会事業学会
第 60 回北海道医療ソーシャルワーク学会
大会長 関 建久

第 65 回公益社団法人日本医療社会福祉協会全国大会および
第 37 回日本医療社会事業学会、第 60 回北海道医療ソーシャルワーク学会
のご案内

拝啓 厳寒の候、会員の皆様方におかれましてはますますご活躍のこととお慶び申し上げます。
さて、このたび標記につきまして、下記のとおり開催する運びとなりました。つきましては、
ご多忙のところと存じますが、是非ともご参加くださいますようお願い申し上げます。

敬具

記

大会テーマ：「医療ソーシャルワークの枠組みを再考する」

日 程：2017年6月2日（金）14：00～18：00
6月3日（土）9：00～18：00
6月4日（日）9：10～11：50
会 場：札幌プリンスホテル 国際館パミール
〒060-8615 札幌市中央区南2条西11丁目
主 催：公益社団法人日本医療社会福祉協会
一般社団法人北海道医療ソーシャルワーカー協会

大会事務局・連絡先

公益社団法人日本医療社会福祉協会 組織運営部

〒162-0065 東京都新宿区住吉町 8-20 四谷ヂンゴビル 2F

TEL：03-5366-1057 / FAX：03-5366-1058 E-mail：jaswhc@d3.dion.ne.jp

2017年2月吉日

所属機関長 様

公益社団法人 日本医療社会福祉協会
会 長 早坂 由美子
第 65 回公益社団法人日本医療社会福祉協会全国大会
第 37 回日本医療社会事業学会
第 60 回北海道医療ソーシャルワーク学会
大会長 関 建久

第 65 回公益社団法人日本医療社会福祉協会全国大会および
第 37 回日本医療社会事業学会、第 60 回北海道医療ソーシャルワーク学会
のご案内

謹啓 時下、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃は、当協会の事業に対しましてご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、このたび標記につきまして、下記のとおり開催する運びとなりました。つきましては、ご多忙のところと恐縮ではございますが、貴施設所属の関係職員の参加に対しまして、ご配慮の程よろしくお願いいたします。

敬具

記

大会テーマ：「医療ソーシャルワークの枠組みを再考する」

日 程：2017年6月2日（金）14：00～18：00
6月3日（土）9：00～18：00
6月4日（日）9：10～11：50
会 場：札幌プリンスホテル 国際館パミール
〒060-8615 札幌市中央区南2条西11丁目
主 催：公益社団法人日本医療社会福祉協会
一般社団法人北海道医療ソーシャルワーカー協会

大会事務局・連絡先

公益社団法人日本医療社会福祉協会 組織運営部

〒162-0065 東京都新宿区住吉町 8-20 四谷ヂンゴビル 2F

TEL：03-5366-1057 / FAX：03-5366-1058 E-mail：jaswhc@d3.dion.ne.jp

第 65 回公益社団法人日本医療社会福祉協会全国大会
第 37 回日本医療社会事業学会
参加登録ならびに交流会・お弁当のご案内

大会事務局様からの委託により、(株)近畿日本ツーリスト北海道が大会に参加される皆様の参加登録・交流会・お弁当・宿泊のお世話をさせていただくことになりました。

以下の要領にて受付をいたしますので、お早目にお申込ください。皆様方のお越しを心よりお待ち申し上げます。

事前参加登録、各種申込締切日 : 2017 年 4 月 14 日(金)

<http://www.knt.co.jp/ec/2017/jaswhs/>

事前参加登録、交流会・お弁当の申込は、上記の大会ホームページでも承ります。

● **大会参加登録**

登録種別	事前参加費	当日参加費
会員	10,000 円	11,000 円
非会員	12,000 円	13,000 円
学生	-	3,000 円

※会員は、日本医療社会福祉協会もしくは全国医療ソーシャルワーカー協会会長会入会協会の会員となります。

※学生の参加登録は、当日登録のみとなります。

● **交流会のご案内**

日 時 : 6 月 3 日(土) 18:30~20:30

会 場 : 札幌プリンスホテル 国際館パミール(6 階:美瑛+十勝+日高)

参加費 : 7,000 円

● **お弁当のご案内** (事前申込)

6 月 3 日(土)の、お弁当の予約を承ります。当日販売はおこないませんので、ご希望の方は事前申し込みをお願いいたします。

昼食弁当代 : 1,080 円(税込・お茶付)

● **申し込みの流れ**

【申し込み】

本書巻末の申込用紙をコピーし、必要事項をご記入のうえ、FAX にてお申し込みください。もしくは大会ホームページの参加登録フォームに必要事項を入力しお申し込みください。

申込締切日: 2017 年 4 月 14 日(金) 18:00

【受付確認】

申込書受領後、遅くとも1週間以内に確認のメール、FAXを返信いたします。お申込後1週間が経過しても返信がない場合は、お手数をお掛けいたしますが弊社宛お問い合わせください。

【費用の請求・支払】

2017年4月20日(木)までに「予約回答・請求書」をメールもしくは郵送にてお送りいたします。内容をご確認のうえ、2017年5月8(月)までに代金を送金ください。クレジットカード決済の方は、この日までに課金させていただきます。

代金の支払いについては銀行振込、コンビニエンスストア店頭での支払、クレジットカードでの決済3つの方法から、申込時にお選びいただきます。銀行振込の送金手数料はお客様がご負担ください。コンビニ支払の場合は収納代行手数料として400円を代金請求時に加算させていただきます。

なお、公費・校費での支払については対応していません。

【参加券等の送付】

入金確認後、2017年5月25日(木)頃までに届くよう「大会参加証・大会抄録集」をお送りします。お弁当、をお申込の方については利用券を別送いたします。

● 6月3日(土)の各セッションへの参加について

大会会場の席数に限りがありますので、各セッションへの参加人数掌握のため、アンケートにご協力をお願いいたします。巻末の申込用紙に、ご希望されるセッションをお答えください。

9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00
第1分科会	講演①	シンポジウム④	シンポジウム②	講演②	事業報告②				
第2分科会	集い②	ワークショップ	集い①	集い⑥	第4分科会				
第3分科会	集い③	事業報告③	集い⑤	集い⑦	第5分科会				
シンポジウム③	集い⑨	集い④		集い⑧	第6分科会				

● 札幌市内宿泊のご案内 (2017年6月2日(金)~6月4日(日)の3泊分ご用意しています。)

詳細・申込につきましては、大会ホームページ <http://www.knt.co.jp/ec/2017/jaswhs/> をご覧ください。

● 変更・取消について

変更や取消の際はFAXもしくはEメールにてご連絡ください。お電話での連絡はお受けできません。なお当社の営業時間外にいただいた取消・変更については翌営業日での取扱とさせていただきます。また、取消の際は下記の取消料を申し受けます。

【大会参加費・交流会費】

参加登録の取消については、2017年4月14日(金)の18:00以降はお受けできません。また大会参加費、交流会費に関してはご入金いただいた後は一切返金できませんことをご了承ください。

【お弁当】

10日前~8日前	7日前~2日前	前日	当日	未渡
20%	30%	40%	50%	100%

● お申し込み・お問い合わせ先

(株)近畿日本ツーリスト北海道 札幌法人旅行支店

第 65 回公益社団法人日本社会福祉協会全国大会 担当デスク

住所:〒060-0003 札幌市中央区北 3 条西 2 丁目 日通札幌ビル 6 階

電話: (011)280-8855 FAX:(011)280-2732 E-MAIL:s-convention-1@or.knt-h.co.jp

(営業時間:月～金 9:00～17:45 土日・祝祭日は休業)

第 65 回公益社団法人日本医療社会福祉協会全国大会

事前参加登録・交流会・お弁当申込書

登録・申込締切日 2017年4月14日(金) 18:00まで

住所 (チケット類送付先)	〒 _____ 都・道・府・県 (勤務先・自宅)	
	※必ずお手元に届く住所を記載ください。	
ふりがな 氏名		
勤務先名		
電話番号	TEL _____ - _____	
FAX 番号	FAX _____ - _____	
e-mail	e-mail _____ @ _____	
お支払方法	(クレジットカードでのお支払いの場合は、大会ホームページより申込みください。) 銀行振込 ・ コンビニエンスストア	

以下、該当するものを○で囲んでください。

参加登録種別	会 員 (10,000円)	非会員 (12,000円)
交流会 6/3(土)	申込み (7,000円)	申込みしない
お弁当 6/3(土)	申込み (1,080円)	申込みしない

6/3(土)に参加を希望されるセッションを○で囲んでください。

9:00~10:30	第1分科会 第2分科会 第3分科会 シンポジウム③ 未定
10:40~11:40	講演① 集い② 集い③ 集い⑨ 未定
11:50~13:20	シンポジウム④ ワークショップ 事業報告③ 集い④ 未定
13:30~15:00	シンポジウム② 集い① 集い⑤ 未定
15:10~16:10	講演② 集い⑥ 集い⑦ 集い⑧ 未定
15:20~18:00	事業報告② 第4分科会 第5分科会 第6分科会 未定

備考

FAX 送信先 011-280-2732